

8-4 産学連携

社会から大学や研究機関に求められる役割が変化する中で、大学共同利用機関である分子科学研究所も、基礎科学研究が果たすことの出来る社会への貢献を担っていく必要がある。分子科学研究所では、産学連携の窓口を設けて、共同研究・研究委託・施設利用・寄附講座などの利用を、自然科学研究機構の産学連携担当者と連携しながら進めている。このような取り組みは、社会の課題解決に資するのみならず、分子科学の研究の切り口を増やし、研究分野の裾野を拡げる取り組みの一つとして、重要なものである。なお寄附講座は、単独または複数の企業等外部機関からの会費により運営するオープンイノベーションの拠点として設置された「社会連携研究部門」に配置されることとなっている。このような社会連携研究部門では、企業等外部機関と緊密に連携を取りながら、新たな産学連携研究の創出を目指していく。